

スマートコンストラクションレトロフィット 浚渫対応用アドオンキット取付説明書 (20t STDアーム 全機種対応)



本書をお読みいただく前に



●はじめにお読みください

- 本資料はスマートコンストラクションレトロフィットキットが既に取り付いている車両に対して、浸漬可能となる追加オプションキットとなります。このキットだけでは本来のレトロフィットキットの機能は満足しませんのでご注意ください。
- スマートコンストラクションレトロフィットキット取り付けに関する注意事項や取付方法に関しては、別資料(スマートコンストラクションレトロフィットキット取付説明書)を参照下さい。
- 本アドオンキットは全機種対応のため、必ず守るべき取付寸法以外は記載しておりません。参考画像を参照して、各機種への取付をお願いします。取り付け可能かどうか本資料参考に、車両状態を事前に確認してください。
- 既存のスマートコンストラクションレトロフィットキットのハーネスは水没すると破損します。浸漬作業時は注意して作業してください。

●取付に必要なキット以外の部品

- 本キットを取り付けるショベルに適合する新規バケットリンクを別途用意してください。
※用意せずに取り付けたブラケットを手直し除去して使用することも可能ですが、追加でシートを取り付けることができるように、丁寧に既存のブラケットを除去してください。

Contents

1. 既存部品取り外し/交換

- 1-1 バケットIMU/ハーネス、アームハーネス(一部)取り外し
- 1-2 バケットリンク交換

2. アドオンキット取付

- 2-1 バケットリンク溶接手直し
- 2-2 浚渫ボックスサブ組立
- 2-3 バケットハーネス、アームハーネス取り回し

01

Chapter

既存部品取り外し/交換

- 1-1 バケットIMU/ハーネス、アームハーネス(一部)取り外し
- 1-2 バケットリンク交換

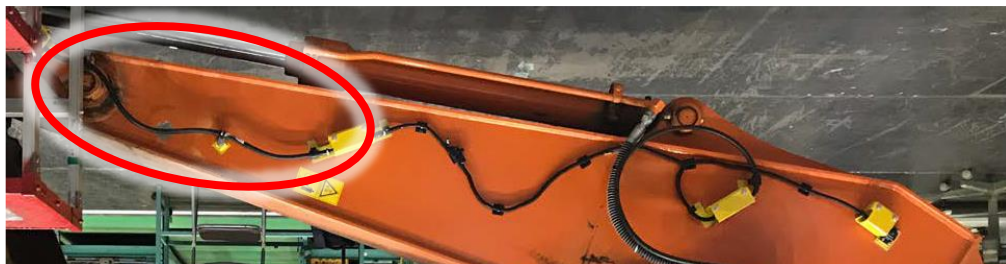
1-1 バケットIMU/ハーネス、アームハーネス(一部)取り外し

①スマートコンストラクションレトロフィットキットで既にバケットリンクに取り付けているIMUを取り外す。



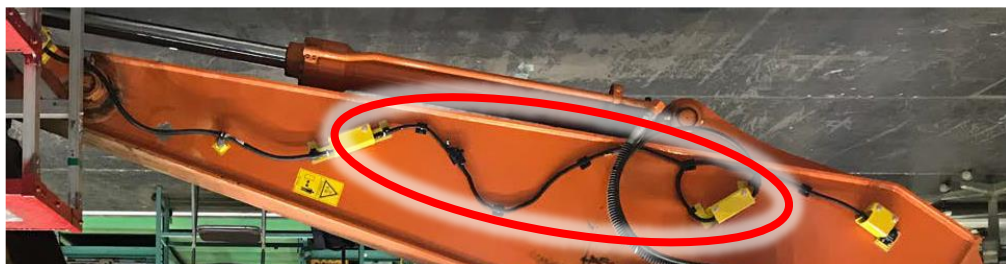
※取り外したバケットIMU×1及びIMU取付ボルト×4(01252-A0516)、ワッシャ(10601-20513)×4は再利用する。

②スマートコンストラクションレトロフィットキットで取り付けしたバケットIMUに取り付けているバケットハーネスを取り外す。



※取り外したハーネス固定に使用していたシート、ボルト(一部)はそのまま流用。クリップ、クッションは本キットのものを使用する(チャプター2参照)。

③スマートコンストラクションレトロフィットキットで取り付けしたアームIMUに取り付けているアームハーネスを一部取り外す。



1-2 バケットリンク交換

①スマートコンストラクションレトロフィットキットのブラケットが既に取り付いているバケットリンクを新規に交換する。



※各機種に適合する新規バケットリンクを手配、交換すること。画像はZX200-6である。
新規バケットリンクを用意せずに既存のバケットリンクを手直しして使用することも可能だが、追加でシートを取り付けることができるように丁寧に除去すること。

02

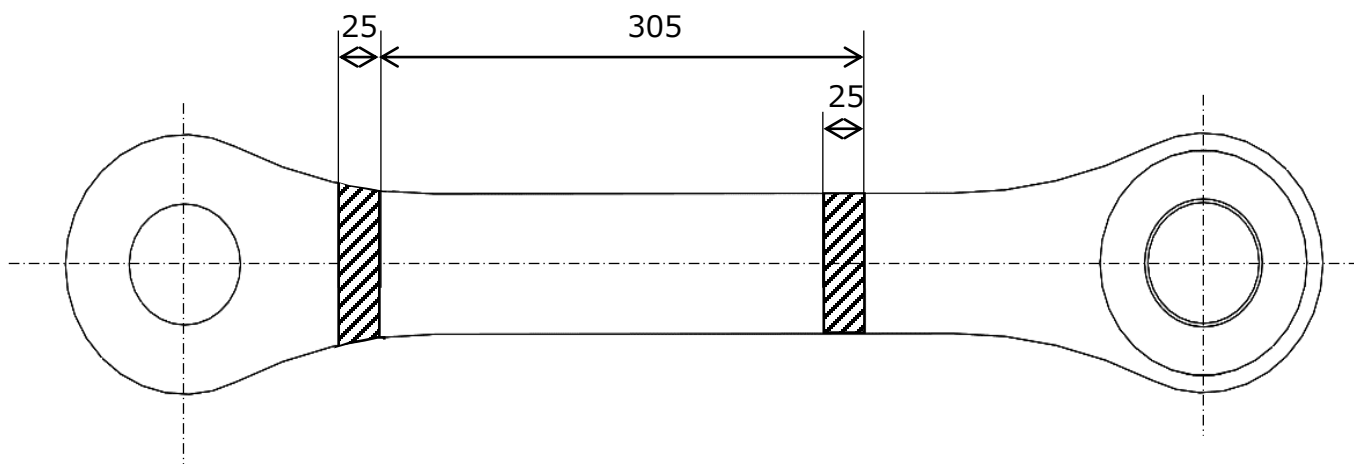
Chapter

アドオンキット取付

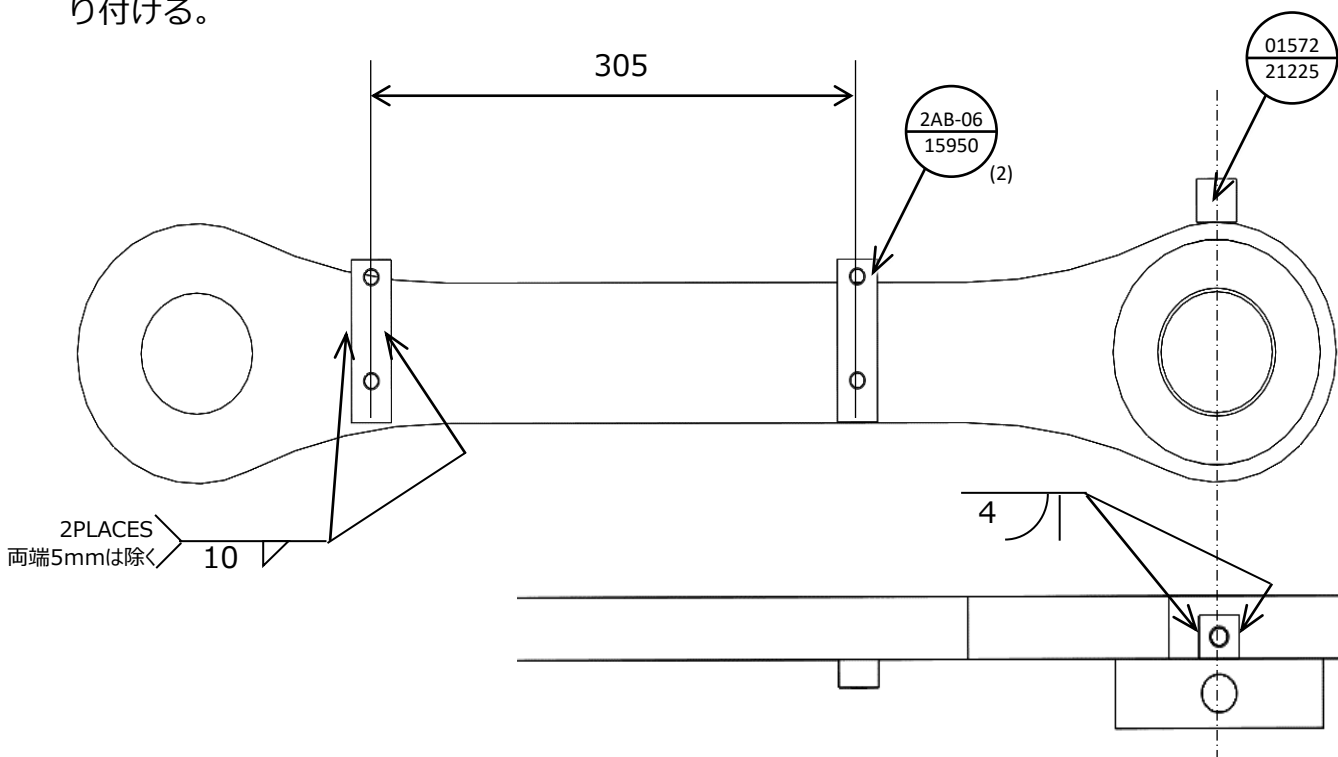
- 2.1 バケットリンク溶接手直し
- 2.2 浚渫ボックスサブ組立
- 2.3 バケットハーネス、アームハーネス取り回し

2-1 バケットリンク溶接手直し

①交換した新規バケットリンクにシート(2AB-06-15950)×2を追加するため、塗装を剥がす。



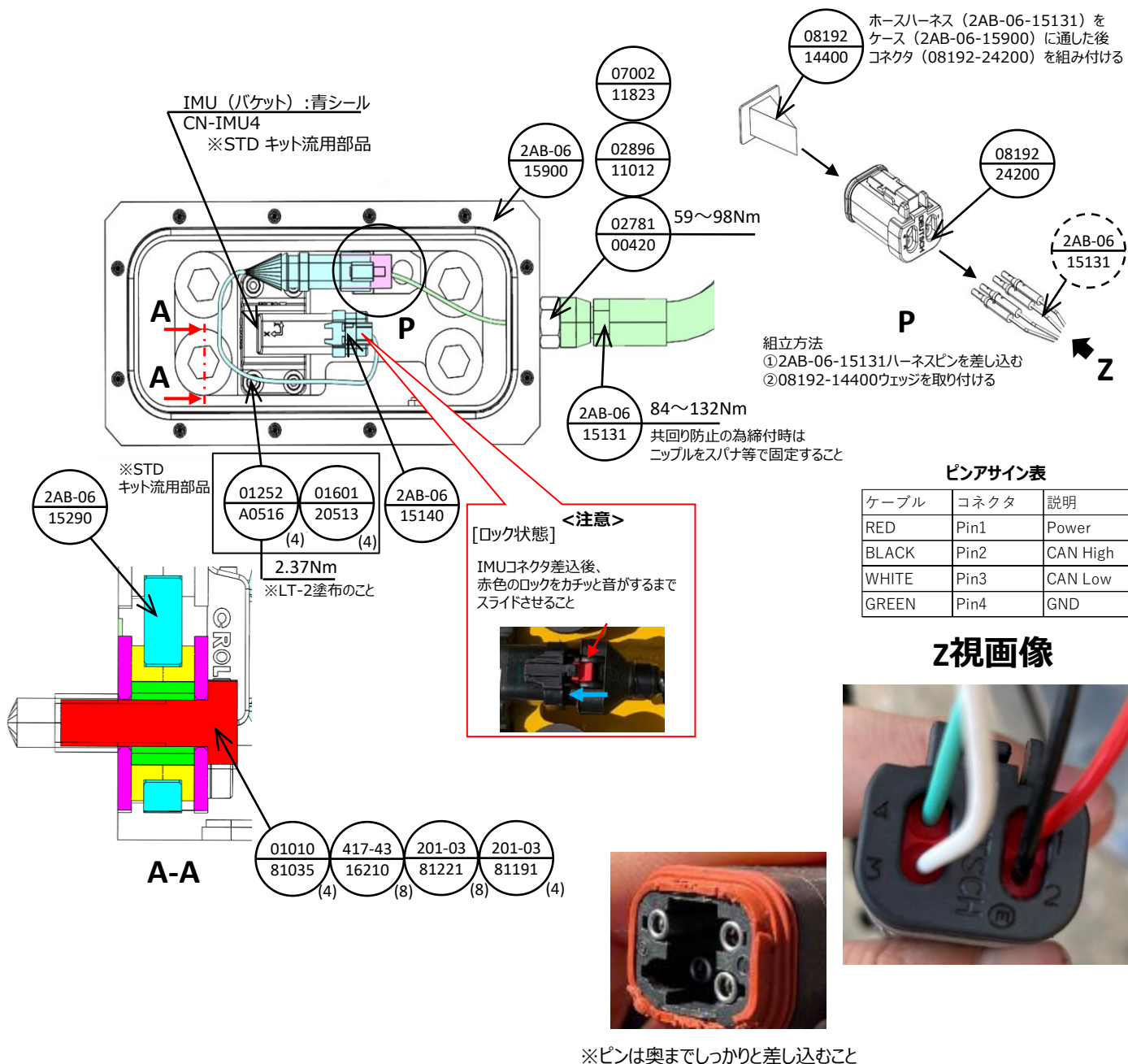
②塗装を剥がした場所にシート(2AB-06-15950)×2を追加手直し。また、ホース干渉に気を付けながら、下図参考にクリップ用のシート(01572-21225)をバケットリンクに取り付ける。



※上図リンクはPC200のもの。各機種に適合するように適宜シート位置調節すること。

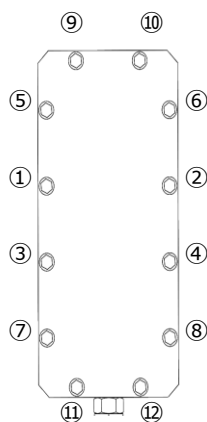
2-2 浚渫ボックスサブ組立

①図示に従って防水BOXとホースハーネスを締結し、サブ組立を行う。



※接続ピン位置を間違えた場合は、適切な道具を使用して抜き差しし、改めて正しい位置にピンを差し込むこと。

サブ組立続き



2AB-06-15940 本体

裏ナット

0.6~1.2Nm

左図のように裏ナット
Oリングを用いて
取り付けること
(注：二面幅18mm)

ケース外

ケース内

Oリング

2AB-06
15930

708-27
12131

2AB-06
15940

2AB-06
15920

19.6~29.4Nm

01643 01020
A1032 01030
(4) (4)

3.9~5.9Nm

一旦仮締め後、
左図のように内側から
順に締めること

01020 01643
00616 A0623
(12) (12)

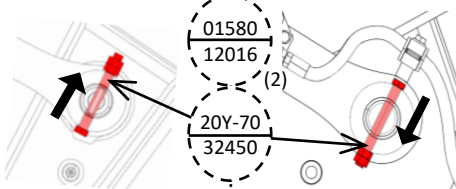
防水ケースサブ

01020 01643
01030 A1032
(4) (4)

＜注意＞ 浚渫対応オプション
装着時はバケットリンクボルトの
の差し込み方向を通常時と
逆にする。こと。
⇒ボルトが干渉してハーネスが
装着できなくなることを
回避する。

通常時
(オプション装着前)

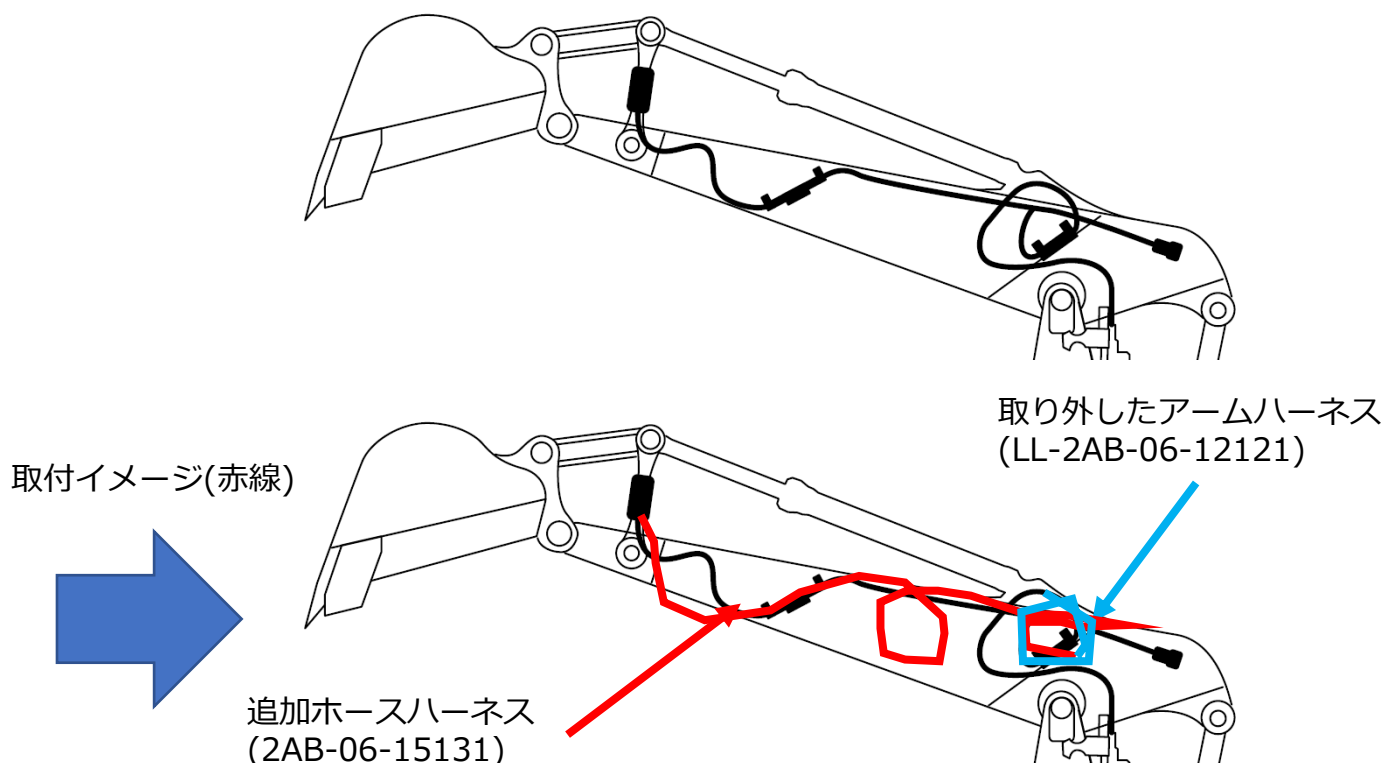
浚渫対応オプション
装着時



2-3 バケットハーネス、アームハーネス ハーネス取り回し



①下図参考に追加バケットホースハーネス/アームハーネスの取り回しを行う。

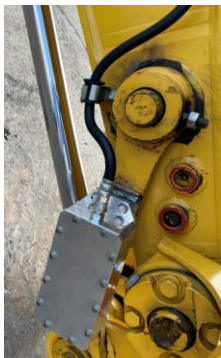


※上図はPC200。バケット揺動部は経路同じだが、揺動部以外は上図、下図参考に取り回す。追加ホースハーネス周回部で適宜長さ調整すること。

全体参考



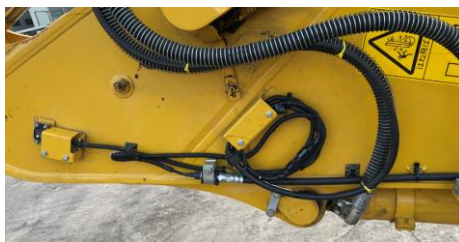
BOX周辺



ホースハーネス周回部

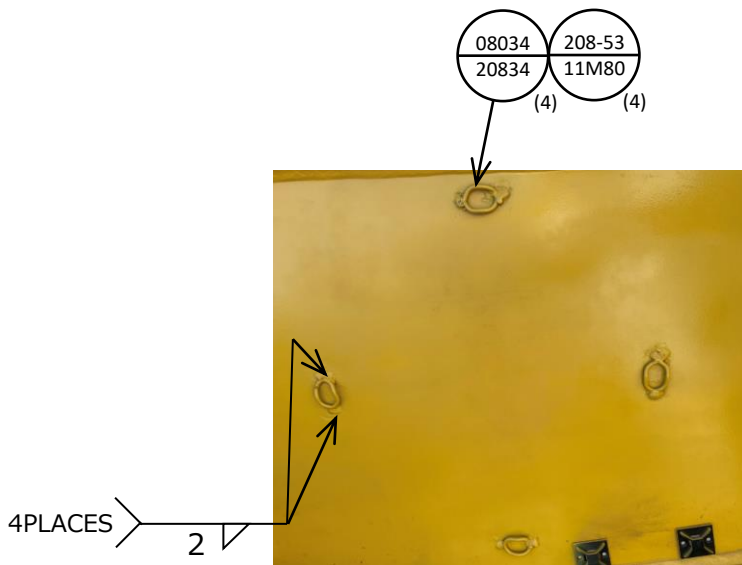


既存ハーネス

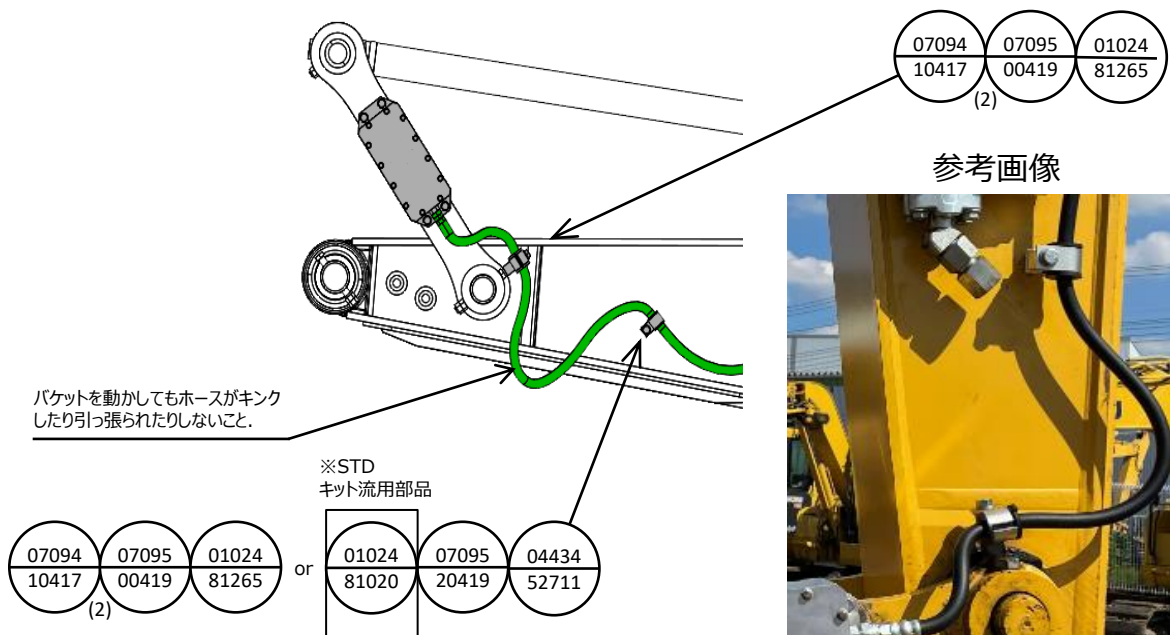


取り回し続き

②周回部は下図のようにリング(208-53-11M80)を溶接し、バンド(08034-20834)でホースハーネスの取り回しを行う。(下図は4箇所に取り付けたイメージ画像)



③下図参考に、ボルト、溶接シート流用し、クリップ(07094-10417)×2、クッション(07095-00419)をボルト(01024-81265)でホースハーネスを固定する。溶接済みのシートボルト穴径によって、取り付ける部品を適宜変更する。



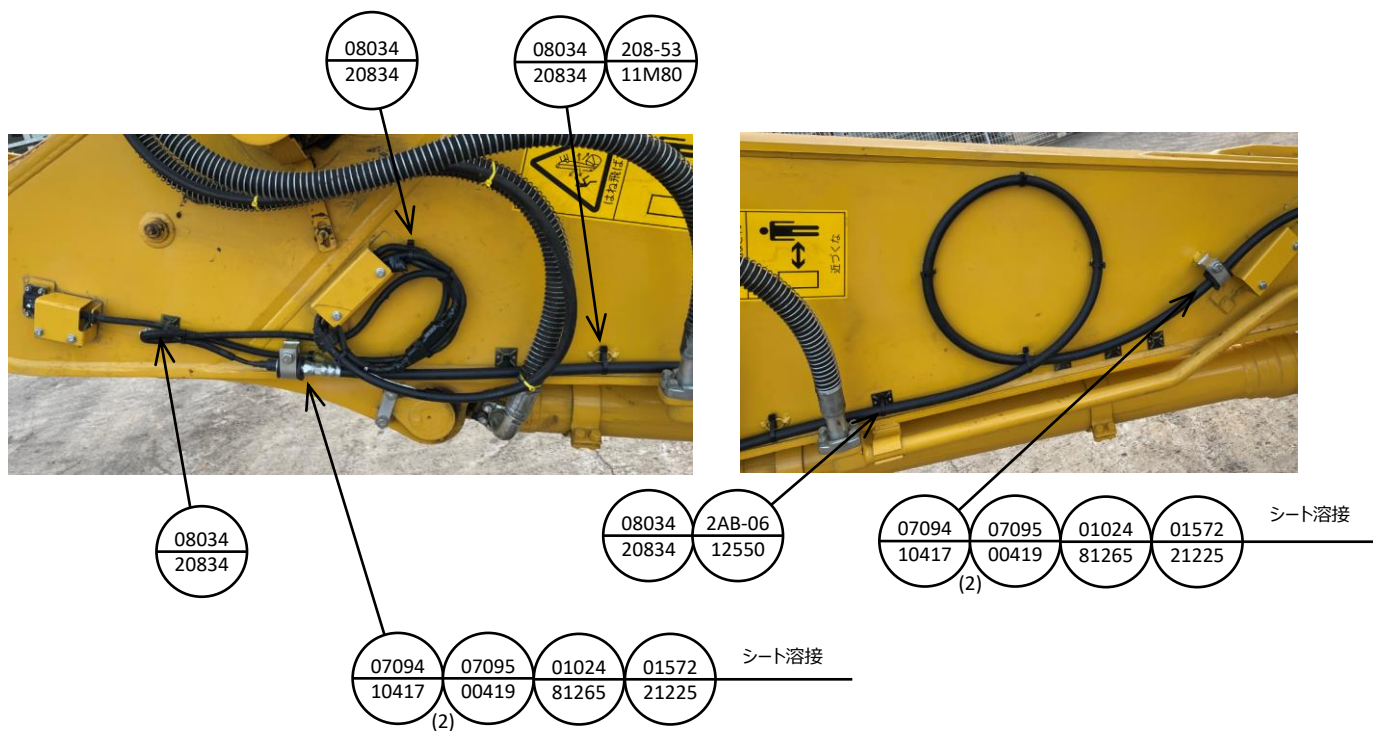
参考画像



取り回し続き

④下図参考に適宜シート(01572-21225)を溶接し、クランプ(07094-10417)×2、クッション(07095-00419)をボルト(01024-81265)でホースハーネスを固定する。リング(208-53-11M80)も適宜使用すること。

※ホース口金部はクランプ推奨。適宜ステッカーとバンドで締結すること



※上図はサンプル位置。既存のステッカー使用しても可。

⑤既存の終端抵抗を取り外し、めくらコネクタ08192-23100に08191-00770×3取り付けたもの)に変更する。(写真はさらにテープ巻き)



■ 商品に関するお問い合わせ

株式会社EARTHBRAIN サポートサイト問い合わせ：

<https://support.smartconstruction.com/hc/ja/requests/new>

リンクより問い合わせフォームに遷移します。

■ 不具合発生時のお問い合わせ先

LANDLOG サポートセンター

☎ : 0120-460-106